

「防災の日」の由来となった関東大震災から100年

今年、1923年（大正12年）9月1日に発生した「関東大震災」から100年の節目の年となります。9月1日が「防災の日」と定められているように、関東大震災は近代日本における災害対策の出発点となった未曾有の災害です。

関東大震災は「大正関東地震」によってもたらされた大震災です。震源地の直上に箱根や丹沢などの中山間地があるのに加えて、人口が集中する首都圏にも近く、家屋の倒潰、山間部における崖崩れなどの土砂災害、沿岸部での津波被害といった多岐に渡る被害をもたらしました。また、発生時刻（11時58分）が昼食の時間と重なったことから多くの火災が発生しました。発生した火災は、能登半島あたりを北上していた台風からの強い風により大規模な延焼火災に拡大しました。これらのことから関東大震災による死者・行方不明者は約10万5000人に及びました。

	関東大震災	阪神・淡路大震災	東日本大震災
発生年月日	1923年（大正12年）9月1日 土曜日 午前11時58分	1995年（平成7年）1月17日 火曜日 午前5時46分	2011年（平成23年）3月11日 金曜日 午後2時46分
地震規模	マグニチュード M7.9	マグニチュード M7.3	モーメントマグニチュード Mw9.0
直接死・行方不明	約10万5千人 (うち焼死 約9割)	約5,500人 (うち窒息・圧死 約7割)	約1万8千人 (うち溺死 約9割)
災害関連死	—	約900人	約3,800人
全壊・全焼住家	約29万棟	約11万棟	約12万棟

※出典：「関東大震災100年」内閣府特設ページより

関東大震災100年を契機に、それぞれの地域で防災について考え、災害に備える機会とするため、様々なイベントが開催されています。国内最大規模の防災イベント「防災推進国民大会」（ぼうさいこくたい）についても、今年、震源地でもある神奈川県にて9月17日、18日に開催されることになりました。

内閣府より「関東大震災100年」特設ページが開設され、関東大震災にまつわる様々な情報が公開されています。過去の大災害を知り、教訓として現代の防災に活かしましょう。『**知ることも備え**』です。

〈 防災士 荻野 勝也 〉

